

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

（令和3年6月3日 午後1時00分）

●議長（佐藤武雄） 会議を再開します。

通告の3、北村富貴夫議員。

- 1 信越病院の建設について
- 2 旧柏原小学校の解体について
- 3 介護療養病床について
- 4 柏原大平地籍の産廃処分場について
- 5 生活用水の浚渫等について
- 6 信濃町消防団について

議席番号1番・北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。議席番号1番・北村富貴夫でございます。初めて質問に立たさせていただきます。よろしく願いいたします。細かい部分での質問は、順番が変わるかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。質問が多く、ボリュームがありますので、答弁は簡潔明瞭で分かりやすくお願いいたします。

信越病院の建設について、通告に沿いまして質問させていただきます。地域の健康と暮らしを支え、身近で信頼され愛される病院と理念でうたわれた病院について、基本構想ができ、地域医療にとって重要な役割を担っています。しかし、人口減少や少子高齢化が急速に進展し、患者数が大幅に変化することが見込まれ、経営環境は大変厳しいものがあります。このような状況でも、地域の安全安心等、住民のよりどころとなっています。設計前が大変重要で、建設する以上は、良い病院にしたいと考え、気になったことについて質問させていただきます。

最初に入り口が1か所としか、私は見えませんでしたけれども、2万平方メートルの病院本体の敷地がありますので、この建設位置について、どのように考えていらっしゃるのか。それから職員駐車場と患者さん駐車場、それから救急車用の入り口、そのようなものを分けて設置すべきと考えていますけれども、その辺りの考えについて、町長にお伺いいたします。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 北村富貴夫議員さんのご質問にお答えをさせていただきたいと思っております。信越病院の建設建築に向けて、いよいよスタートしてきているわけでございますが、ご心配をいただいていることに対して、御礼を申し上げさせていただきたいと思っております。まず、現状で、先般の議会と言いますか、いつでしたか、前々議会でしたかね。

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

土地の正確な測量等々もやらなければいけないということで、予算を認めていただいて、そういった事業も踏まえて、今現実的にどういうふうな建物、位置の問題、それから周辺の道路の問題等々、具体的な検討の緒についているというところでございます。ご心配のように、建設位置は、町民の皆さんに説明した時には、ひとつのイメージとして、こんなような病院の位置でというようなことで説明はしているのですが、それは決して結果の、検討結果ではなくて、あくまでもイメージとしての、何て言いますか、説明としてさせていただいたと。これから基本設計、そしてまた実施設計という段階に入っていくわけでございますので、今言われました、例えば駐車場の問題だとか、周辺道路の問題、それから建設の基本的な建物の位置の問題だとか、総合的に勘案しながら、まだ正式に決まっておきませんので、十分検討して、今後より良く利用できる、そういう病院を目指していきたいということで、今検討を始めさせていただいているというところでございます。そのようなことで、またいろいろなお知恵がありましたら、お寄せいただければ、大変ありがたいなあというふうに思います。以上です。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） ただ今、検討段階というようなご答弁をいただきました。また建設位置というのは、大変重要だと私は思っております。柏原小学校の跡地ということで、小学校を解体してからなのか、その辺も、例えば早めに小学校の解体と並行して作り始めるとか、そういうことも考えられるとすれば、今、柏原小学校がある手前に作り始めることも可能だと思っております。そうすれば少しでも早くなるのかどうか。そういうことも考えて、やっていただければと思います。それから今の中に、駐車場の問題等入り口、やはり北側、それから南側とそれから坂、何と言うんですか、一茶記念館側の降りる道と、このルート3つあるかと思うのですが、そういうこともやはりしっかりと検討しながら、対応していただければと思います。この設計の段階というのが、大変重要でございますので、どうぞよろしくお願いします。

次に、周辺道路整備について、前のときも、この話をちょっとお伺いしましたけれども、あの柏原小学校の跡地というのは、大変坂道の多い土地でございますので、この融雪道路、雪道の融雪、そういうことを考えるべきではないかなと、通院される皆さんが、安全で安心できる、またこの除雪を考えると、幅の広い道路の計画が、周辺に必要と思うのですが、その辺についての考えをお伺いします。どうぞよろしく申し上げます。

●議長（佐藤武雄） 横川町長。

■町長（横川正知） ご心配いただいております周辺と言いますか、出入口の道路も含めて、現道の中で、少しでも安全確保のできる、そのような線形をどうとれるかというようなことも含めて、検討を始めているところでございます。いずれにしても、いわゆる高低

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

差で言えば、高い所と低い所の位置が決まっているものですから、その中で、更にまた末永く、より安全に使えるには、どういうふうな線形が確保できるか、そしてまた幅幅がどういうふうが可能かというようなことも含めて、検討を始めているということでございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。大変あの周りの道路は狭いといのが、私の印象でもありますので、やはり広くしていただいて、考えていただければと思います。

次の質問に移りますが、この構想を見ますと52床ということですが、この機能的で使い勝手が良く、動線がしっかりと取れるような建設についてやらなければならないと思っておりますが、この限られた予算の中で、建設するには、病院の職員等で構成する建設委員会みたいのがあれば、そういうところで検討されるべきものと考えていますけれども、そういう使い勝手等を含めまして、そういうほかの病院等の調査も、そういうものは検討されたのでしょうか。その辺も伺います。事務長さんのが良いのかな。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。院内の検討した経過ではございますが、病院の今回の基本構想を基にして、各部署、病棟、リハビリ、あと外来、検査など、各部署ごとで、そのヒアリングを行って進めてきた経過がございます。新しい新病院に、どのくらいの専門的、今現状から面積とか、どういう部署が必要なのかということ、コンサルタントの事業者も含めた中で検討させていただきました。本年度についても、各部署の各部門ごとの配置関係や必要面積の提案を基に、またそれを本年度の基本設計に反映できるように、再度ヒアリングを今、実施している最中でございます。必要な器具や倉庫の量も含めて、ゾーニングを行いながら、各部署の位置関係を今後も進めていくということで、今実施しているところでございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。病院のその位置関係、大変、動線、看護師さんが動くということを考えると、薬剤に薬を取りに行く、または物材を物を取りに行くとか、そういうものに大変だと思っておりますので、動線位置、動線をしっかりと考えてやっていただければと思います。

続いて伺いたいのですが、救急車の問題なのですけれども、今までの病院では、頻度は年間に216件というようなことが書かれていました。大きな事故等があれば、1日に何度も病院に来る。私も救急車の運転をしていたのですけれども、そういうことを想定されます。こういうことに対応するために、まずひとつは騒音の対策、ここは今度、

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

柏原小学校跡地ということになれば、ほとんど住宅街をさあつと通るということになりますので、そういう騒音対策については、どんなふうを考えてらっしゃるのかどうか。お伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。新しい病院ができた時点で、想定されるお話で、緊急の救急車が入ってきて、それが近隣住民の住居環境を変えてしまうということも想定されてきているところでございます。昨年度、当初の基本構想、概要版をもって住民の皆様説明会を何度か開かせていただいた、その中でもそういうご意見もございました。救急搬送につきましても、近隣の住民のやはりご心配されている、その課題を解決と言うか、ひとつの課題であるということは認識しておりますので、また近隣住民の皆様のご理解とご協力が、一番重要になってくると思っています。そういう部分も含めて、今後も対応していければなというふうに考えております。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。騒音対策というのは、実際夜中でもなんでも、緊急が来ると大変うるさいです。特に信濃町は閑散としているところも多いので、その辺については、しっかりと対策を練っていただければと思います。いずれにしても、職員の意向、意見、動線は大変重要なこととございますので、是非検討していただきたい。

それから次に、この旧柏原小学校の周りにある樹木のことについてお伺いします。ここを残すということで、構想ではなっております、高い木が残るということであると、やはり一番怖いのは落雷でしょうか。それから台風災害等を考えると、やはりある程度減少させるべきではないかなと、ちょっと思うところもあるのですが、その辺の低木にするというような考え方と、旧柏原小学校には桜の木は、実はあまり、あまりというかなかったんですね。小学校で桜の木がなかったのはびっくりしているのですけれども、やはり町の木であるオオヤマザクラを植樹するとか、そういう患者の癒しになるようなことを検討されたらと思うのですが、その辺についてお伺いします。事務長にお伺いします。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。ご質問の現在ある樹木に関しましては、既存の樹木を残すなどの方向性も今後建物や駐車場、そこの敷地に入って来る進路などの敷き全体のレイアウトを、除雪、先ほどご指摘のあった除雪や、また防災、また緊急ヘリポートの構想の面も含めて、基本設計の中に検討して反映させていかなければいけないものなので、その具体的な樹木を残すとか、低木の話までは、今あまりできていない状況です。

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

旧柏原小学校の周りには、記念樹等ございます。それは確認されてございますので、その活用方法も、もう基本設計の中で、検討していかなきやいけない重要な課題だと思っております。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。記念樹もあるというような話ですが、いくつも高い木が、本当にもう何年前のものかちょっと分からないようなものが、たくさんあると思うのです。しっかりとそういうものも検討されて、伐採するのか、残すのか、やっていただければと思います。是非ともオオヤマザクラは、町の木でもありますので、どこかにそういうものを植樹していただければと思います。

続いて、国も県も、この少子高齢化で、税収が大変減少傾向になっておりまして、町の負担は、ただにこれも心配になるのですけれども、この患者さんの定員等でやはり新病院に救急車の配備というのは必要ではないかと思うのですが、その辺についてのお考えをお伺いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。救急車の対応は、今長野市広域消防での対応をお願いしている状況です。現在の病院の再整備基本構想計画では、想定してございません。ということで、今は想定はしてないということです。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 想定はされてないということでございますけれども、現実に患者さんが緊急の段階で転院するといったときには、広域消防を使ってやるということによるのでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。基本的に現在の方法と変わりなくということで、想定はしてございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 実際には、転院等に、そういうものがあるかないかによっては、患者さんの命に関わることもありますので、是非そういうことも検討していただければと思います。実際にあれば、すぐ行けますけれども、呼んでからというような時間も確

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

かにかかるわけですから、その辺も是非ご検討いただければと。確かに予算がないのは、分かってはいるのですけれども、やるべきことは必要なのかなと思うところもあります。

続けてですけれども、長野国道工事事務所から国道18号バイパスの調査設計、用地調査の報道発表が、先日ありました。病院へのアクセス道路ということについて、どのように考えているのか、現在の国道18号からと新しくできれば、当然そちらの方からも入ってくるようになるかと思うのですけれども、その辺についてお伺いします。どなたが良いのかな。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） 北村議員のご質問に対して、お答えさせていただきたいかと思えます。それに先立ちまして、18号野尻バイパスの関係、概略だけ説明させていただきたいかと思っております。現在、野尻バイパスにつきましては、古間地籍、高原ドライブインの下から野尻までの全長が8.7メートルの部分が、失礼しました8.7キロメートルのところバイパスというふうに言われておまして、そのうち、道の駅から野尻の部分につきましては3.3キロは、もうすでにこの所は完了しておまして、それからあと高原ドライブインの下から大きなカーブがとれているところの約1キロメートル、そこまでが一応工事が完了している所でございます。先ほど、北村議員のおっしゃいました、令和3年度に予定されているその部分についてということなのですけれども、その部分につきましては、その富士通でございますけれども、富士通から信濃中学校の入り口、その部分までが、今回示された所の工事個所でございます。それにつきまして、概ねの大きさというか、距離といたしまして1.1キロメートルの区間でありまして、幅員でございますと、車道幅員が片側3.5メートル、あとそれから積雪体が2メートルと歩道が3メートル付しまして、片側だけで8.5メートルになりますので、両側合わせますと、掛ける2ということになりますので、17メートルの道路が計画されているような状況になっております。それでその部分の1.1キロメートルにつきましては、昨年8月20日、23日の2日間に渡りまして、該当地区の住民の方々に、説明会を県の方で、実際に済ませたような状況になっております。ですので、今年度につきましては、境界の測量ですとか、その他の地権者への買い取りですとか、そういったことについて、今年度は進める予定になっておりますので、先ほど議員のおっしゃったように病院のアクセスというところは、まだそこまで、今回の計画の中ではいきませんので、そのところの部分につきましては、今後古間地区の皆様の方の工事の目途がついた段階で、古間から今度は、柏原地区に移った段階で、また検討させていただくような形になるかと思っておりますので、今回の部分につきましては、病院のアクセス道路とは、直接関係ございませんので、ご理解の方よろしくお願ひしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

◆1番（北村富貴夫） はい。この国道18号、バイパスの方は調査設計、用地の調査ということで、私も認識していましたので、確かにそうなのですが、今現在の国道18号からの、今度、柏原小学校へ入るといったときに、郵便局のあそこの交差点から入って行く、または一茶記念館の入り口から入る。この2か所。または仁の倉線の方から、こういうふうに入ってくるというようなことが考えられるのですけれども、その辺を、もう少し広くとか、そういうことの考えがあるのかどうかと、そういうふうにご考えていただければと思いますが、その辺については、いかがでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） はい。先ほどお話にありました病院の建設予定地なのですが、旧柏原小学校の西側になりますかね。下に道になっていますけれども、あちらの所を拡幅等々していく計画等も、こちらの方で建設と絡めて進めていくような形のことを、今の段階で、また計画をするというような形でいますので、その辺のところにつきましても、今後また、旧柏原小学校の西側の下の現道の道路。現道につきましても、拡幅等々も考える中で進めていかなければならないですけれども、まだ現実的な計画が決まっていますので、今後その辺のところは、ゆっくりと詰めていきたいと思っております。以上です。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。やはり病院へのルートというのは、やはり広くないと、大変患者さんの輸送や除雪もそうですけれども、そういうものが大変困るのではないかなと思いますので、是非とも検討していただければと思います。この件、病院の建設については、木を見て森を見ずというようなにならないように、患者さんや住民の立場のそういう視点で、是非、検討、対応していただければと思います。

続いて、旧柏原小学校の解体についてお伺いします。解体に伴う騒音、振動、ほこり等への対策について、伺いたいと思います。これについて、周辺住民への配慮として、家屋調査を実施すべきではないかと思っておりますけれども、これについてはどうでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。現在、病院の再編計画の中で、旧柏原小学校の解体につきましては、来年度予定してはございます。その中で、想定したスケジュールの中での部分で、本年度については、解体の設計とか、また町の財産としての施設の財産の位置づけの変更とかを予定しております。議員が今ご指摘いただいた、解体工事の騒音等の環境影響の懸念につきましても、昨年度の住民説明会の中でも、かなりお話もいただ

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

き、また昨年度の信濃町立病院整備計画基本策定委員会の提言書にも書かれているところでございます。周辺地域の住民の配慮としての家屋調査につきましても、国土交通省の告示の中の公共工事の災害対策防止要綱というところには、示されておるところでございますが、周辺の構造への対策が、この度の解体工事の設計においても必要な措置であるかも含めて、本年度の設計業者、設計業者が決まった時点で、また協議させていただくことも必要かなと思っています。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 柏原小学校のような大きな建物の場合、振動やほこり、これが相当、騒音もそうですけれども、大変なものになるかと思えます。近くの住民にとっては、家の中の壁が落ちた、ヒビが入った、ほこりが舞ってくる。そういうようなことが、よくある事と言われております。その辺を考えると、家屋調査は是非すべきではないかなと思うのですけれども、その辺も是非ご検討いただきたいと。それから旧柏原小学校については、アスベストがあるかと思っております。それからPCB等は、ないという事でよろしいのですかね。その辺もお伺いしたいのですが。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。旧柏原小学校につきましては、アスベストが施設に含まれているかどうかという調査を平成17年に実施してございます。結果、ボイラー室とあと倉庫の天井にアスベストの含有があるということで、封じ込めの飛散防止工事も実施済みでございます。ただアスベストの含まれている所はありますので、解体工事におきましても、そのことを確認したうえで、適切な対応を取ればなというふうに考えております。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） PCBはないということよろしいですか。

●議長（佐藤武雄） 丸山病院事務長。

■病院事務長（丸山茂幸） はい。PCBの物が置いてあるかどうかというのを、調査まではちょっと把握してございません。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 古い昭和52、3年ぐらいまでは、PCBというのは、実際にあり

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

うると思いますので、しっかりと調査をしていただいて、自家発があったのですかね、そこも分からなかったのですけれども、考えてしっかりと対策を練っていただきたいと思います。解体に、これについては、しっかりとアスベストも、考えてやっていただければと思います。それから解体に伴う業者、業者選定、入札、先ほど同僚議員のほうから、入札の話も出ましたけれども、地元企業等も参加できるように、契約も考えていただければと思いますが、その辺についても、お伺いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 高橋副町長。

■副町長（高橋博司） 建設工事請負人選定委員会の委員長をしております私のほうからお答えをさせていただきたいと思います。まず、入札の関係でございますけれども、町の基準におきましては、1億円までは、指名競争入札、1億円を超えますと、一般競争入札ということで、どの事業者さんでも、条件が合えば、入札に参加できるという形になります。1億円以内の指名競争入札にあたりましては、こちらの請負人の選定におきましては、根本的には技術力が特保された上ということで、公平性を確保する中で、指名をさせていただいているところでございます。なおかつ現状におきましても、指名におきましては、道路工事等におきましては、地元業者さんを中心に選定をさせていただいているところでございます。今回の旧柏原小学校の校舎を中心にした解体工事につきましては、今年度設計をさせていただくということになっております。現時点では1億円を超えてくるのではないかと想定しておりますけれども、実際には、今後設計をしてみて、金額が確定してまいります。そういう中で、先ほど申し上げたような条件を考慮しながら、業者選定を進めてまいりたいと思っておりますが、重ねて申し上げますけれども、地元事業者さん方も、町を支えていただく大事な皆さんであると思っておりますので、そういうものも念頭に置きながら、検討してまいりたいと思っております。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。古い構造物や建築物は、何が起きるか本当に分かりませんので、そういう点では、十分調査の上、そういうことも検討していただいて、注意して解体していただければと思います。

続いて次の質問に移ります。現在のコスモス病床、こちら入院されている患者さん。令和5年度に、このコスモス病棟が廃止ということとなっておりますけれども、今後どのようになっていくのか、そういう患者さんの受け皿とかそういうことについて、いったんお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

■住民福祉課長（柄澤 豊） はい。介護保険事業の方に関わることでありますので、私の方からお答えをさせていただきます。議員さん、おっしゃるとおり、令和6年3月末をもって、介護療養型医療施設の制度が廃止になりますので、信越病院の介護療養病床25床分が廃止となるわけでございます。この25床分の施設利用者につきましては、町の地域包括支援センター、それから信越病院の地域連携室等、町内事業者にもご協力をいただきまして、スタッフが中心となって利用者及びご家族と直接、相談、話し合いを持って、介護施設等の今後の移動先やその利用者、ご家族に合った介護サービスの選択等、丁寧に対応してまいりたいと考えています。その時のこの介護病床の利用者が介護難民とならないように、努力をしてまいります。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） はい。介護難民という言葉が出ましたけれども、そのようなことにならないように、入院されている家族の皆さんのご負担にならないように、近隣の介護事業者等への紹介を含めて、是非ご配慮をお願いしたいと思います。

続いて、次の質問に移らせていただきます。柏原大平地籍に、今、産廃、鉄くずですね。そちらの処分場が、今できておりますけれども、行政としての対応について、お伺いしたいと思います。

●議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（柄澤 豊） それでは私のほうからお答えをさせていただきます。柏原大平地籍の、ちょっと定義が微妙なところがあるのですけれども、処分場といいますか、現在お聞きしている情報では、産廃の処分場という用途ではなくて、アームロールの箱、有価物を入れる箱ですかね、それから長いH鋼ですとか、重機などの資材置場にしたいというふうに聞いております。当初、金属くず、金属くずも有価物ということでございますので、産廃の適用にはならないのですけれども、仮置きという話もありましたけれども、町のほうでお聞く中では、積雪等もあるため不向きだというふうに考えているというふうに聞いてございます。行政の対応ということでございまして、こういった産業廃棄物関連につきましては、長野県の廃棄物の適正な処理の確保に関する条例によりまして、手続きをされるものであるのですけれども、産業廃棄物という位置づけになりますと、長野県が主担当で、町も協力をして、調査や必要に応じて指導等も行います。法律や県条例以上に、町が規制してやることはできませんけれども、住民感情や行政の指導で規制できる範囲で努力をしているところでございます。現在町の対応でございまして、主に定期的な現況確認を行っています。法令違反と思われる状況や法令条例の手続きが必要とされる場合には、確認するために、現況確認を行います。5月18日にございますけれども、所有者に立ち合いをいただき確認をした状況は、伐採した樹木、伐根等の、そういった枝払いした枝等々が、北側の住宅の近くに積み上げられており、

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

砕石等による、その地形の変更が見受けられました。そのような中で、所有者からその伐根した株等の処分計画、土砂の埋め立て計画、土壌汚染対策法の届出関係、隣接者の事業説明等の状況を確認し、指導を行ったところでございます。隣接者への事業説明は、樹木の伐採前に実施をしているということでした。当課といたしましても、隣接者の方にも訪問し説明の有無や説明内容について、聞き取りを行ったところでございます。今後も引き続き必要に応じて、現地確認や対応をしてまいらる予定でございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫。

◆1番（北村富貴夫） はい。定期的に現況確認をされていると、それから隣接者への説明もされているということでありますので、法律上問題がないということであれば、今後とも行政からの、そういう指導、できる範囲で是非ともお願いしたいと思っております。

続けて次の質問に移らせていただきます。仁の倉地区を流れる生活、防火、農業用水、二つの浚渫（しゅんせつ）、護岸工事について伺います。1つ目は、湯の入川です。生活用水、防火用水、農業用水で、大変重要となっております。上流の方は、護岸が大変浸食して、傷んできており、大変工事が必要となっております。過去には、町政懇談会等でも要望させていただいた経緯もございます。これが1つ目。2つ目は、仁の倉南の地区を流れる町道沿いのその川、この護岸も大変傷んでいるところが、見受けられるのですが、土砂が流入して、用水がだいぶ浅くなってきております。この用水は、浚渫工事、それから護岸工事等は、是非とも検討していただければと思います。先日、4月の話なのですが、消防団も出動して、町道を横断している土管内、そう所に土砂がつまり、その仁の倉の東地区と言いますが、五輪堂の方面ですね、そちらの方への通水量が大変減りまして、消防ホース、消防団に出動していただきまして、消防ホースで水圧を上げて、土管内の通水をいたしました。そういうようなことも考えられまして、冬の間は除雪で、やはりそういう川にみんな雪を入れる。そういうことによって。土砂がたまってきていると。今まで多分、浚渫はほとんどやっていないのではないかなと思われまので、こういうことについて、是非とも検討していただきたい。そして護岸工事も検討いただければと思うのですが、その辺いかがでしょうか。

●議長（佐藤武雄） 海口建設水道課長。

■建設水道課長（海口泰幸） 湯の入川に関しましては、県道わきを流れます箇所については、道路の改良工事と合わせまして、改修されているのはご存知のとおりだと思います。それからその上流の方につきましては、一部平成30年度に、護岸工事等されておりまして、改修等は済んでいるわけなのですが、北村議員のおっしゃる部分につきましては、更にその上の方だと思うのですが、林の中とか、あの辺になってきますので、大変作業等々とも難しいかと思っておりますので、こちらにつきましては、現状の方を確認させていただきまして、またより良い方向で検討させていただきたいかと思

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

ます。ほかの箇所も、だいぶお金がかかる所もございますので、予算等の関係の中で対応をさせていただきたいかと思えます。それから2つ目の件でございますけれども、昔の長野信州新線、現在は仁の倉中央線という町道名に代わっておりますけれども、その脇を流れます河川のことをおっしゃっているんだと思うのですけれども、その部分につきましては、やはり流れは緩やかでございますし、泥等も貯まりやすい状況でございますし、一部崩れているような状況も、こちらの方で確認させていただいております。道路管理者からいたしますと、護岸の傷んでいる部分につきましては、道路幅員の維持という部分もあるかと思えますので、現状を見る中で、その部分の崩れている所につきましては、ちょっとまた改修等々、また有利な補助金があれば、それを使う中で対応していきたいと思えますので、よろしくお願いをしたいかと思えます。また、こちらの方につきましても、また予算が絡んでくる部分がございますので、すぐにといいわけにはいきませんが、状況を見る中で、早急に対応できるような方向で検討していきたいと思えますので、よろしくお願いをいたします。以上です。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 是非、この用水がだいぶ浅くなってきて、除雪もまた影響があるかと思えます。毎年、大雪が降ると、除雪をするとあふれるということが、考えられますので、その辺も水があふれて、そういうことも考えられますので、お願いをしたいと思います。

最後の質問です。消防団員の減少が考えられる中、消防団員を増加させる方策について、伺います。団員を増加させる方策の一つとして、信濃町独自の方策というのは考えられますか。どうですか。そういうことについて、お伺いをしたいと思います。よろしくお願いをいたします。

●議長（佐藤武雄） 松木総務課長。

■総務課長（松木和幸） はい。消防団の関係ですので、総務課の方で答えさせていただきます。現在当町の消防団員の条例定数は400人でございまして、この4月1日現在の団員数は387名とう状況になっているところでございます。今ご提案あった福利厚生というの必要かというふうに思っているところですが、町では県と連携して消防団員を応援して、消防団活動が活発になることを目的とした、信州消防団応援ショップ事業という事業を、平成28年からスタートをしているところでございます。この事業につきましては、県内の消防団員が、消防団員やご家族に対して、登録いただいた登録店舗で、割引等のサービスの提供をいただけるという事業でございまして、消防団を応援して、地域の安全を守るということで、進められている事業でございまして、町内においても、平成28年の当時でございまして、消防団の団長と消防主任が、各事業所を回らせていただいて、是非そこに参加していただくようお願いをして、現在28店舗登録されてお

令和3年第419回信濃町議会定例会6月会議会議録（2日目）

ます。県内全体では1422店舗ありますので、長野県内で、その団員のカードというのを作っているのですが、それを見せると割引サービスを受けられるという事業でございます。そういう福利厚生事業を行っておりますが、団員の皆さんには、ほかに本業を持ちながら、自分の町は自分で守るといふ崇高な精神に基づき行っていただいておりますので、日頃の活動に対して、深く感謝を申し上げますところでございます。以上でございます。

●議長（佐藤武雄） 北村富貴夫議員。

◆1番（北村富貴夫） 福利厚生事業もだいぶ充実されてきているのではないかと思いますけれども、やはり今後も家族旅行などの補助制度、そんなようなものを含めて検討していただければと思います。この少子高齢化の中、団員を集めるというのは、大変厳しいものだと思いますけれども、是非ともそのようなことを考えていただいて、この地域の安全を、しっかりと守っていただければと思う次第でございます。時間がまだ残っておりますけれども、私としては、初めてここで質問をさせていただきました。デビューしたわけですけど、だいぶ緊張いたしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

●議長（佐藤武雄） 以上で、北村富貴夫議員の一般質問を終わります。この際、1時55分まで暫時休憩といたします。

（午後1時44分 終了）